

福泉寺の七不思議

(鉾田市大蔵)

ある地方や特定の場所でない伝えられている不思議な現象を、七つ集めてセプトにしたのが「七不思議」であるが、単品で取り上げてみると、文芸的な話は少なく、「不思議で怖いけれど、それだけの話」というものが多い。

しかし、それらが「七不思議」の枠に入ると忽ち目には見えない異界への入口がぱくぱくと開かれる印象になるから、筆者としては、そちらのほうが不思議に思える。

鹿行で最も知られている七不思議は、お馴染みの要石も入る「鹿島の七不思議」であるが、探してみると他にも沢山ある。鉾田の福泉寺に伝わる七不思議は、旧大洋村地区に住んでいる人々の間では有名な話である。



のどかで明るい場所という印象の福泉寺。

参考文献/「おらがたいよう村」桑田二郎著(大洋村商工会地域特産品等開発推進事業実行委員会)/「鹿行地方の民話イラストマップ」(茨城県鹿行地方総合事務所)

◆ ◆ ◆
福泉寺の七不思議について

その① 東野の馬骨
寺の東方に只砂の草原があり、馬捨場(馬の死体を葬る場所)となっていた。粗末に野ざらしにされた馬の死体が怨念となり、骸骨のまま火を吐いて駆け抜ける姿を見た者がいた。

その② 南池の無尾鯉
寺の池の鯉が、浅瀬で体を洗っていた馬に、ヒズメで尾を踏みつけられ、ちぎられてしまった。尾の無い鯉が怨みに思い、池に近寄る人を溺れさせるようになった。

その③ 竹林鶏三本足
本堂脇の竹林に、三本の足を持つ珍しいニワトリが棲みついていた。村人が捕まえようとすると、まばゆい光を放

ち空中へ羽ばたいて行った。

その④ 弥八山の弥左エ門

寺の西北方にある弥八山にはムジナが棲んでいて、「篤農家の弥左エ門」という百姓に化けて悪さをしていった。正体を見抜いた和尚が喝を入れると化けの皮がはがれ、ムジナは山に帰っていったが、夜な夜な山から下りて来て「坊主起きろ」と寺の戸を叩いた。

その⑤ 北方の独眼(ひとつめ)

北方の雑木林に年老いた白狐が棲んでいた。家畜を襲うので、農家の若者が弓矢を放ったところ、矢は狐の目を射た。若者は狐を追って、寺の池まで来ると、女がしがやがみこんでおり、振り向いた顔は一つ目で、若者は逃げ帰った。再び村人たちと戻ってみると、女のいた場所には血の付いた矢があり、雑木林には狐の死体が横たわっていた。

その⑥ 不能の埒路

北方の田圃続きに不能という所があり、北浦湖が増水すると水を濁々とたたえる。うっかり舟を出すと方向が分からなくなり帰れない。

その⑦ 丁丁の小櫓

その昔、寺には立派な山門があり、それを建てた棟梁の左甚五郎は、裏板に小櫓を置き忘れてしまった。その小櫓が世に出たくて夜な夜な化け、山門から「丁丁」と裏板をたたく音がした。

◆ ◆ ◆
起承転結の「結」の無い不思議な話は、別の次元で今も続いているのかもしれない。

街で見つけた あなたの近所にも居るかも!



無口な人気者

その⑭：フェンスの可愛い小鳥さん(鉾田市)



大洋公民館のフェンスに可愛い小鳥さんを見ました。幼稚園や保育園のフェンスに使われていても良いような感じの可愛さです。公民館は、この小鳥さんに囲まれています。果たして…ただの小鳥なのか?

知りたくなり、撮影時に館長さんに聞いてみました。

この小鳥さんは、大洋村の鳥「ウグイス」だそうです。「ホーッ! そうだったのか〜!!」と思いましたが、ワタクシには、ただの小鳥にしか見えません。

ウグイスの特徴といえば、あの「ホーホケキョ」という鳴き声です。でも、色も無い形だけのものと、ただの小鳥にしか見えないのは仕方ないことかもしれません。

ちなみに、今は、合併された鉾田市の鳥になっています。よかったですネッ、ウグイスちゃん。これが、市の鳥になっていなかったら、気にも留められない、ただの小鳥さんになってしまったかもしれませんからネッ。

本

新しい世界との出会い

脱コンビニ食! 健康長者をめざす食生活のヒント

山田博士著 平凡社 700円

添加物まみれの「無感動食」であるコンビニ食。居酒屋、ファミレス、ファーストフード、デパート地下までもが同列となると、私たちはいったいどんな食事をしたら良いの?と思うくらい、生活に深く入り込んでいます。分かっているけど止められないくらい普通の生活に溶け込んで、これからの日本はどうなってしまうのだろう。

せめて、もとの材料が形になっているところからでも料理をしますか? 沢山のゴミも出さなくてもよくなります。スローライフということでも遅くはありません! 始めましょう!

久保 保子(潮来高校図書館司書)



編集デスクからのお知らせ

あなたの住む街で、無口な人気者を見つけましたら、「わたしのまち」編集デスクへ情報をお寄せ下さい。投稿も受付けています。宜しくお願い致します。

〒311-2423

潮来市日の出6-17-1

「わたしのまち」編集デスク宛

TEL&FAX0299-66-6667



百郎ちゃん